

令和4年度 第3回 鹿児島支部評議会の議事概要

開催日時	令和5年1月20日（金）14：00～15：45
開催場所	鹿児島中央ビル6階 支部会議室
出席評議員	始良評議員、岩重評議員、佐野評議員〈議長〉、瀬平評議員、三浦評議員、山縣評議員（五十音順）
議題	<ol style="list-style-type: none"> 令和5年度保険料率について 令和5年度支部事業計画（案）・KPI（案）について 令和5年度支部保険者機能強化予算（案）について その他
議事概要 （主な意見等）	<p>1. 令和5年度保険料率について 資料に沿って事務局より説明。 〈主な意見と回答〉</p> <p>（学識経験者） インセンティブ制度による保険料率への影響の大きさを改めて感じた。今後は、重症化予防事業に加え、健診や特定保健指導についてもこれまで以上に推進していく必要がある。</p> <p>（事業主代表） 保険料率に対するインセンティブ制度による加減算の影響は大きい。今後も報奨金がもらえるよう、戦略的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>（被保険者代表） 鹿児島支部の保険料率は下がる見込みではあるが、平均保険料率10%を超えているので、まだ厳しい状況だと思う。国庫補助率を本則の上限20%まで引き上げることや医療費適正化の施策が必要。</p> <p>（被保険者代表） 保険料率の引き下げはありがたい。都道府県単位保険料率については、支社が他県にもあるため、支部間格差があることに違和感を覚える。</p> <p>（被保険者代表） 未治療者の医療機関受診率がインセンティブに結び付き保険料率引き下げにつながった結果は立派。一方で健診受診率や特定保健指導実施率については伸びしろがあるのでがんばっていただきたい。令和5年度保険料率については異論なし。</p>

(議長)

評議会の意見としては、鹿児島支部の令和5年度保険料率を10.26%とすることについて、妥当であると考えます。ただし、平均保険料率10%を超えていることを踏まえるならば、これまで要望してきたとおり国庫補助率を20%に引き上げることを強く求めたい、ということを取りまとめてよろしいか。

(評議員)

一同異議なし。

2. 令和5年度支部事業計画(案)・KPI(案)について

資料に沿って事務局より説明。

《主な意見と回答》

(被保険者代表)

特定健診について、子から親への健康メッセージカードによって意識啓発する事業は、親として自分より家族を優先してしまう事を考えると凄く良いアイデアだと思う。具体的な中身と規模を教えてほしい。

(事務局)

対象者は高校生である。学校にて健康に関するDVDを鑑賞してもらい、親に対して健康に関するメッセージをカードに記入して渡してもらうという事業になる。現在は、DVD作成中であり、関係各所に配布のお願いをしていく予定。具体的な規模数はまだ未決定であるが広いエリアで実施したいと考えている。

(事業主代表)

特定健診受診率や特定保健指導の実施率等のKPIの目標値については各支部で設定していると思うが、全国平均はどれくらいなのか。

(事務局)

特定健診について鹿児島支部が50%くらいで、全国平均が54~55%くらいであり、全支部の中でもワースト10に入っており、被扶養者は最下位になっている。強化していく項目であることを認識している。

(事業主代表)

インセンティブ制度の評価項目で、鹿児島支部は結果が良い項目と悪い項目がはっきり

している。悪い項目については、目標値を達成できるような計画を立て、人的資源や資金を注ぎ込み集中的に実施する事が必要だと思う。目標を達成するための具体的な施策を教えていただきたい。

(事務局)

今回お示しした事業計画を実施することにより、目標を達成していきたい。

本部が示す目標値は、国から医療保険者へ示されている目標値に到達する為に、支部の実施状況を鑑みて試算された数値になっている。前回の評議会で頂いた意見を取り入れて計画を立てたところ。特に被扶養者については、なかなか健診受診率が伸びない中、リサーチ不足ではないかというご意見も頂いたことから、健診会場に赴く等して要因を見つきたい。また、若い世代のうちから、健康についてや健診の習慣化についても周知の幅を広げていこうと考えている。

(被保険者代表)

被扶養者の健診受診率が低い、以前は特定健診の受診券を会社へ送付いただいていたと思う。現在、個人宅に送付しているのであれば変更した理由を教えてください。

(事務局)

ご指摘のとおり、最初は会社へ送付するスキームであったが、会社から被保険者を介して被扶養者へ手渡される例が非常に少ない事が本部調査で判明した。また、いくつも支店等があり担当者の所で留まり、うまく配布できていない会社もあり、会社側の要望により変更した経緯になっている。

(被保険者代表)

受診率を上げるためには、会社から手渡しした方が受診に繋がるのではという意見があったため確認させてもらった。一斉発送のため、個別対応は難しいのではと回答している。届いているのに届いていないなどの意見もあると思うので、弊社でも考えて対応したいと思う。

(事務局)

事業主の皆様にも被扶養者の健診について関心を持っていただくため、去年あたりから事業主様と協会けんぽと連名での受診勧奨を行っている。今年度からは、最寄りの医療機関と無料で受診できる場所を記載して送付している。成果についてはまだ出ていないが、前年度よりは受診率は伸びているのではと期待している。成果が分かり次第、共有を図りたいと思っている。

(事業主代表)

費用対効果を踏まえたコスト削減等の項目で、一者応札案件の状況を教えてほしい。

(事務局)

鹿児島支部の一般競争入札の年間件数は約 12 件あり、その中で 2 件が一者応札となっている。作業スペースが確保できない等の理由で応札を断られ、一者応札となったケースもある。内容が複雑なため対応できる業者が限られている案件については、今後は仕様を見直ししていく予定である。

(事業主代表)

全国の状況はどうか。

(事務局)

ほとんどが 20%以下である。

(学識経験者)

ジェネリック医薬品について、製薬業界の不祥事で安かろう悪かろうの雰囲気医療業界で広まったが、来年度以降の目標について信頼感が落ちこんでいる中、促進だけを奨励することで本当にいいのか意見を伺いたい。

(事務局)

令和 3 年度の使用割合は 85.4%と不祥事の件で前年度割れをしたが、令和 4 年度 8 月末時点では 85.8%と上がってきている。目標としては前年度以上ということで、目標値を設定している。薬剤師会に話を聞いたところ、鹿児島県ではあまり影響を受けていないという認識とのこと。医療費適正化に向けて推進していくことに変化はないが、今後の動向を注視しながら事業を行っていく。

(議長)

令和 5 年度支部事業計画（案）・KPI（案）について承認ということでよろしいか。

(評議員)

一同異議なし。

3. 令和 5 年度支部保険者機能強化予算（案）について

資料に沿って事務局より説明。

《主な意見と回答》

(被保険者代表)

新規事業を多く計画しており、広報が人の目に付く等して結果が少しでもインセンティブに反映するようになっていくと良いと思う。いろいろな取り組みをして、今回保険料率が引き下げになった事はみなさんの努力を評価したい。健診受診の勧奨等についても、こちらでも知恵を絞っていきたいと感じた。また、事業が続くことによって、周りの方から「目にするようになった」などの声が聞けるようになれば良いと思っているので、私共も職場等でPRしていきたい。

(事業主代表)

被扶養者に対する受診勧奨について、事業所で集団で健診を行う際に、被保険者と被扶養者が一緒に受診できる環境があっても良いのではと思う。

(事務局)

事業者健診を行っている健診機関とどうやったら受診率が上がるか協議した際に、そのような意見も出ており検討してみるとの回答を得た。今後も健診機関と連携していくとともに事業所の協力が不可欠である為、支部長始め幹部と事業所に出向き実現に向けて努力していきたい。

(議長)

令和5年度支部保険者機能強化予算(案)について承認ということによろしいか。

(評議員)

一同異議なし。

4. その他

特段の意見なし

以上

特 記 事 項

次回評議会：令和5年7月 開催予定

今回の傍聴者：なし